

平成 29 年 1 月 25 日

本年 1 月で 2 例目が宮崎県で 高病原性鳥インフルエンザ発生

本年 1 月 14 日岐阜県山県市で、今回 1 月 24 日宮崎県児湯郡木城町の肉用鶏（約 168,400 羽）で高病原性鳥インフルエンザの発生がありました。平成 28 年度で 9 例目となり宮崎県での発生は 2 例目の発生となりました。

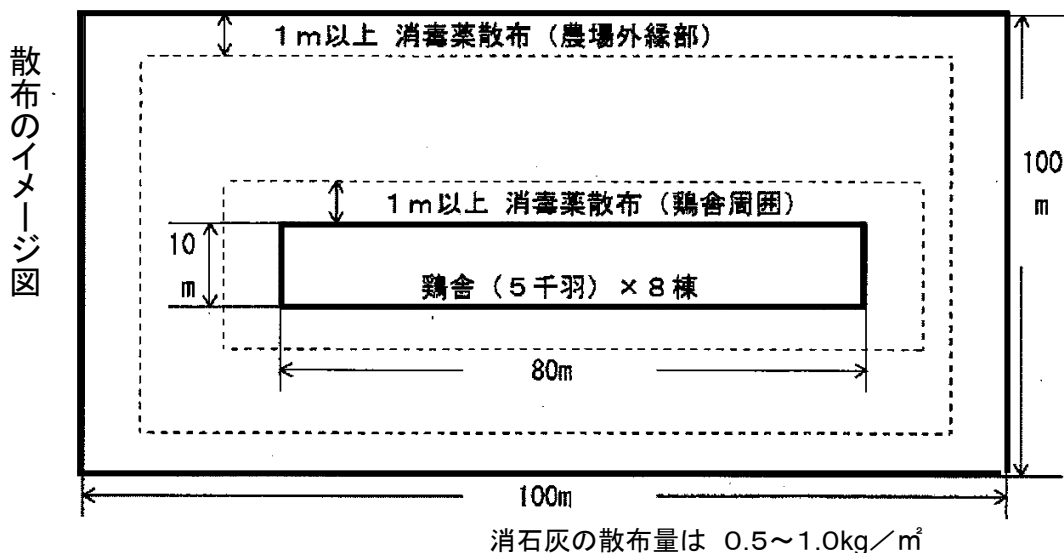
また、野鳥からの高病原性鳥インフルエンザウイルスの分離も依然継続していることから、国内における本病の発生のリスクが高い状況が続いています。

現在、100 羽以上を飼養している農場等には消毒用消石灰を緊急配布しています。しかし、配布が行届いていないところもありますので、各飼養者の方は、保管してある消石灰を活用するなどして直ちに農場内の緊急消毒を行い、高病原性鳥インフルエンザに対する防衛対応の確保をお願いします。

【消石灰の散布方法】

散布場所…農場境界（農場外円部）や家きん舎周囲

散布量…幅 1 m 以上、散布量は 0.5~1.0 kg/m²



1 日の鶏の死亡羽数が増えた場合や元気消失などの異常を認めた場合は、直ちに家畜保健衛生所にご連絡下さい。

問合せ先

家畜保健衛生所 0776(54)5104

嶺南家畜保健衛生センター 0770(45)0191